

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
諏訪市	四賀地区	令和5年3月27日	

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	55.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内耕作者の耕作面積の合計	28.3ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	17.7ha
i うち後継者不在の農業者の耕作面積の合計	5.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	4.6ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"><li>・農業者の高齢化が進んでいる。</li><li>・地区内に担い手がない。水田作は他地区の担い手に委託する人が多い。</li><li>・山付きの畑は耕作条件が悪いため、担い手への委託ができない。鳥獣害も多い。</li><li>・宅地化が進んでおり、農作業に対する住民からの苦情が多い。</li></ul>
---

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"><li>・小規模の圃場が多く、宅地化が進んでいるため、集約化は困難。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・小和田地区に連なる水田地帯については、他地区の担い手への水田作の委託は可能。</li></ul>

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

<ul style="list-style-type: none"><li>・地図化した際、「現状を維持したい」と「耕作を委託したい」の回答した者の圃場が多かった。後者の回答をした者の農地をどうしていくかが重要。</li></ul>
--